

企業理念

一本の大きな木を育てるより、 多くの個性ある木を育て、美しい森をつくる。

イノアックは「暮らしをもっと豊かにしたい」という思いから、ひとつの事業に特化することなく、ウレタン・ゴム・プラスチック・複合材という4つの苗をもとに、多くの事業(=木)を育て、企業体として多彩な製品、サービスを作り出し、社会へ貢献して参りました。イノアックはこれからも多くの個性ある木を育てることで、時代のニーズにお応えしていきます。

Innovation & Globalization

イノアックは高分子化学で世界をリードし、迅速な決断と行動で、活気と個性に満ちたグローバル集団を目指します。それと共に「行動指針」を定め、社内外ともに裏表のない行動で「企業理念」を確実に実行・実現することで、地域社会、顧客、イノアックに関わる全ての人々に信頼されるブランドを確立します。

行動指針

- 挑戦** 自由に発想し失敗を恐れず行動します。
- 収益** 継続的な事業発展と利益ある成長を目指し行動します。
- CS** 顧客満足度を高めるよう行動します。
- チームワーク** 個性を発揮し、信頼される行動をします。
- 誠実・信頼** 虚偽を排し、信頼される行動をします。
- 責任** 責任を持って最後まで行動します。

| 報告期間 | 本報告書は株式会社イノアックコーポレーションにおける2018年度(2018年1月1日~12月31日)の活動実績をもとに作成
※2017年度とそれ以前、2019年の内容も一部含む

| 対象範囲 | 株式会社イノアックコーポレーション単体の活動を中心に、一部国内外イノアックグループを含む

| 発行年月 | 2019年9月

| 参考とするガイドライン | ©「環境報告ガイドライン2018年度版」 ©ISO26000

目次

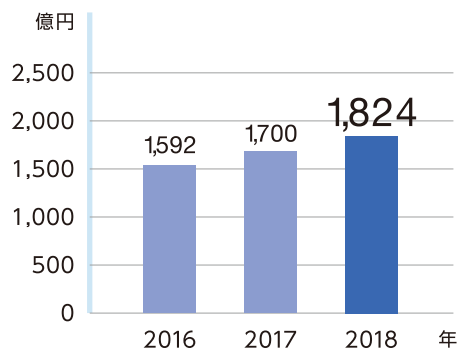
| | |
|-----------------------------|----|
| 目次／企業理念／行動指針 | 01 |
| 会社プロフィール | 02 |
| 会社概要 | 03 |
| トップメッセージ | |
| 事業紹介 | |
| イノアックブランド | |
| 技術革新 | |
| 【特集】地球と人にやさしい製品開発 | 08 |
| 植物由来原料を使用した製品の開発 | |
| NCVプロジェクトへの参加 | |
| マテリアルリサイクルの実現 | |
| 自動車産業に向けてイノアックができること | 13 |
| 環境対応製品事例 | |
| 環境との調和 | 15 |
| 環境マネジメント | |
| 環境負荷の低減 | |
| 化学物質の情報管理 | |
| 価値向上のために | 20 |
| 品質向上の取り組み | |
| 社会とのコミュニケーション | 21 |
| 社会・地域貢献活動 | |
| 働きやすい職場づくり | 23 |
| ダイバーシティの取り組み／ワークライフバランスの推進 | |
| 人材育成 | |
| 安全衛生・防災 | |
| サプライチェーンマネジメント | 26 |
| サプライチェーンマネジメント | |
| ガバナンス | 27 |
| コーポレート・ガバナンス | |
| コンプライアンス | |

会社概要

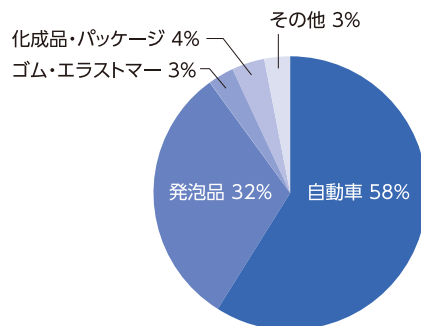
| | |
|----------|---|
| 社名 | 株式会社イノアックコーポレーション INOAC CORPORATION |
| 設立 | 1954年(昭和29年) |
| 資本金 | 7億2,000万円 |
| 代表 | 代表取締役 井上聡一 |
| 社員数 | 1,917名(2018年12月) |
| 売上高 | 1,824億円(2018年12月) |
| 事業内容 | ウレタン、ゴム、プラスチック、複合材をベースとした材料開発とその製品化により、自動車、二輪、情報・IT機器、住宅・建設関連から身近な生活関連商品、コスメ用品まで、生活のさまざまな場面に密着した製品を取り扱う |
| 本社 | 〒450-0003 愛知県名古屋市中村区名駅南二丁目13番4号 |
| 本社(東京) | 〒141-0032 東京都品川区大崎二丁目9番3号 大崎ウエストシティビル4F |
| 事業所および工場 | 安城、桜井、吉良、新城、八名、石巻、南濃、西濃、羽生、秦野、豊橋、武豊 |
| 主要営業拠点 | 東京、中部、大阪、九州(支店)、札幌、東北、浜松、広島(営業所) |
| 研究所 | 株式会社イノアック技術研究所、神野R&Dセンター |
| 海外拠点 | 北米・中米、中国、アジア各国 |

売上

■ 売上推移



■ 2018年度事業分野別売上



ネットワーク

国内主要拠点

イノアックコーポレーションの全国ネットワークに加え、系列・関連・合併会社が北海道から沖縄まで緊密な生産・販売ネットワーク体制を確立し、最適なソリューションを提供しています。



〈関連会社〉

井上護謨工業(株)
 (株)イノアックインターナショナル
 (株)イノアック技術研究所
 (株)イノアック住環境
 日本フクラ(株)
 (株)イノアックリビング 他

〈系列会社〉

(株)北海道イノアック
 (株)東北イノアック
 (株)東日本イノアック
 イノアックエラストマー(株)
 (株)西日本イノアック
 (株)九州イノアック

〈合併会社〉

BASF INOAC ポリウレタン(株)
 (株)ロジャースイノアック 他

海外主要拠点

北米・アジアを中心として、全世界13の国と地域で研究開発から素材の加工・成形技術、量産化までを提案・提供する体制を構築しています。

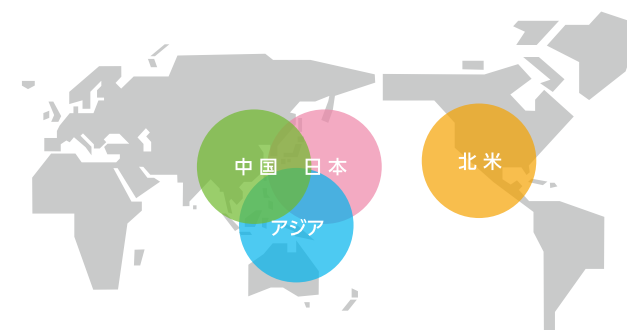


〈北米・中米 18社〉

アメリカ 10社
 カナダ 3社
 メキシコ 5社
 〈中国 18社〉
 中国本土 17社
 香港 1社

〈アジア 35社〉

タイ 13社
 台湾 3社
 インドネシア 6社
 ベトナム 5社
 韓国 1社
 シンガポール 3社
 フィリピン 1社
 マレーシア 1社
 スリランカ 2社



今こそ、「INNOVATION」と「ACTION」の真価が問われるとき

株式会社イノアックコーポレーション
代表取締役

翁 豊彦

■ 目まぐるしい変化の中で

近年、私たちを取り巻く社会情勢は目まぐるしい変化の渦中にあります。100年に一度の変革期を迎えているといわれる自動車業界に限らず、刻々と変わっていく世の中のニーズに応えるべく、生き残りをかけて多くの企業が変革を求められている時代。当社もまた例外ではありません。

2018年度においては増収となったものの、原油価格や物流コスト、電気料金などの上昇に伴って、国内外原材料メーカーで値上げが相次いだことが利益の伸びを阻みました。こうした中においても着実に設備投資を行い、福岡県行橋市、愛知県西尾市、宮城県栗原市に工場を新設。結果として減益にはなったものの、

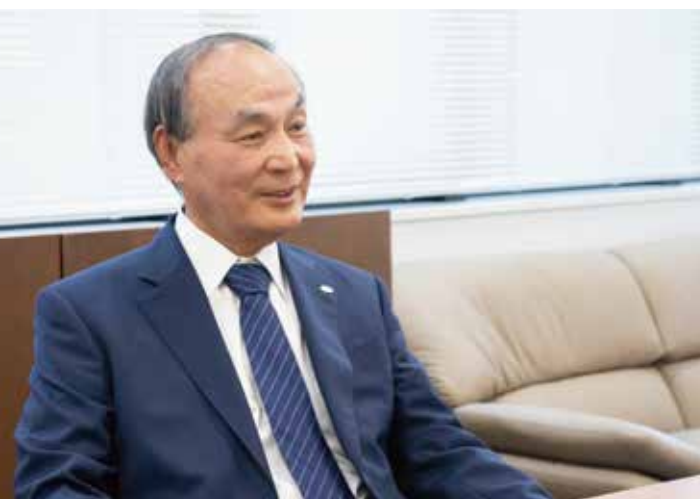
2019年度に入って原料価格は下落に転じており、新工場の稼働もスタートしました。追い風をとらえ、しっかりと増益につなげていけるよう、取り組みを進めてまいります。

■ 働きやすく、地域に根ざした工場づくり

新たな工場の設立にあたって特に力を入れているのは、AIやIoTを取り入れた、より効率的で生産的な設備づくりです。これは今後予測される労働人口の減少に対応する省人化施策であるとともに、各拠点で働く従業員の負担を減らし、安全性の向上を図る取り組みでもあります。ものづくり企業として品質の追求は至上命題ですが、それを支える主体は従業員。ワークライフバランスや教育制度の充実を通じて働きやすい環境づくりを目指します。また、現場で生じたささいな異常であっても即座に全社で共有できるしくみを導入し、重大なインシデントになる前に対処できる危機管理体制を整えています。



また、工場は地域に根ざし、近隣にお住まいの方との良好な関係のもと稼働していくべきもの。立ち上げの際には事前に事業内容やその意義、周辺環境に与える影響などを説明させていただくようにしております。お寄せいただいたご指摘やご要望には真摯に応え、十分にご理解いただいた上で着工。雇用を創出し、操業開始後も折に触れて交流イベントを行うなど、継続的に地域に貢献していくことを心がけています。



■ まいてきたサステナビリティの種

本レポートでは「地球と人にやさしい製品開発」として植物由来製品を取り上げておりますが、こうした試みは当社にとって決して新しいものではありません。今を去ること40年以上前、私が入社して初めて開発に携わったのはパーム油を使用した材料開発でした。化成品といえれば化石由来が当たり前と思いついていた私は、植物由来の可能性を模索しようとする当社の姿勢に驚かされたものでした。同時期には生産した製品を原料に戻す研究も行われており、こちらもありサイクル利用の製品開発として結実、同特集にて紹介させていただいております。長年にわたりサステナビリティを意識して蓄え続けてきたこれらの技術こそ、今日のお客様のニーズに応えるための下地。経営者としてだけでなく、種をまいてきた元技術者としても、非常に喜ばしいことだと感じております。

■ 社会の一員として、さらなるチャレンジを

ここまでお話ししてきた取り組みの他にも、災害に見舞われた地域にお住まいの方々への復興サポート、文化的活動や教育への支援、







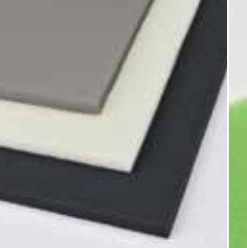

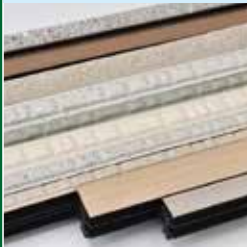



















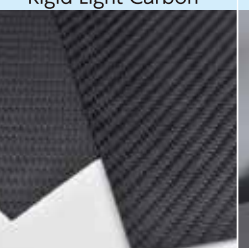



スポーツへの助成など、さまざまなかたちでCSR活動を行ってまいりました。これらの根底にあるのは、企業とは社会の一員であり、その改善と発展に寄与することが使命であるという考え方です。そもそも、各種素材の開発と提供という当社の事業活動は、その先に、より良い世の中を実現させるためのもの。その精神を忘れることなく、技術に磨きをかけ、柔軟かつスピーディな対応で、お客様の期待に応えていきたいと考えております。

急速に進むデジタルイノベーションや国際情勢の絶え間ない変動、国内における少子高齢化など、冒頭に申し上げたような変化は今後ますます加速していくことでしょう。こうした局面は、「革新＝INNOVATION」と「実践＝ACTION」に取り組み続けてきた当社にとって真価を問われるときでもあります。新しい時代を切り拓き、より多くの方々へ便利で豊かな暮らしを提供するべく、積極的にチャレンジを続けてまいります。

皆様には引き続きご指導とご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

事業紹介

～さまざまな分野で活躍するイノアックの素材～

| 分野 | 建築土木 | 産業機械 | 輸送機器 | 物流パッケージ | 電気製品 | IT機器 | 医療福祉 | 生活用品 |
|--------|---|---|---|---|---|--|---|---|
| ウレタン | PORON® WA  | セルダンパー  | チェラスト  | カラーフォーム®  | PureCell®  | EXROTH®  | モルトブレン  | キッチンスポンジ  |
| ゴム | 住宅用目地ガasket  | クローラーパッド  | 軌道パッド  | ゴム車輪  | Ksil™  | トランスクル®  | 車椅子タイヤ  | ラテックススポンジパフ  |
| プラスチック | U-ポリパイ®  | ウォーターフレックス®  | リアスポイラー  | P-E-ライト®  | バフター®  | FOLEC®  | MAPS®  | インジェクションブローボトル  |
| 複合材 | サーマックス®(軽量天井材)  | サーマックス®  | 軽量天井  | クールシステム  | Rigid Light-Carbon  | PureCell®  | Rigid Light-Carbon(義足)  | イノタック(ガーデンテープ)  |

イノアックブランド INOAC brands

イノアックが生み出す素材をベースに、アイデアとテクノロジーで「機能」という付加価値をかたちにしてきました。デザインと機能性を両立したトータルインテリアをはじめ、多彩な素材を活かしたオリジナル製品や選り抜かれたセレクト商品で、私たちの快適な暮らしを支えています。



HUKLA



自転車用タイヤ、チューブの専門メーカーとして1926年の創立から今日まで培ってきた製造、事業経験、また30年以上の海外事業での経験を活かし、人々の生活を支えるタイヤから世界最高レベルのレースで勝利を勝ち取るためのタイヤまで、IRCブランドの製品を通じて人々の生活に新しい価値を提供し続けます。

美しいフォルム、使い心地のよさ。高い品質をベースに心地よくつるぎ・やすらぎのトータルインテリアをめざした家具づくりをしている日本フクラ。デザイン・マテリアルにこだわり、ナチュラルな質感や色・パターンを自由に使いこなしコレクションは心地よい暮らしを彩ります。

まるで心に咲くすみれの花のようなやさしい笑顔を、ケアする方にも、される方にもお届けします。すみれは、イノアックグループに蓄積されたさまざまなシーズ(素材や技術)を応用しながら、独自の製品開発を行なっています。特に身体に接する部分のやさしさを追求し、柔らかさを基本とした製品づくりで、「笑顔と笑顔でよりそう心」の実現を目指しています。

技術革新

研究開発

イノアックでは「暮らしを豊かにする」をモットーに、未来を見据え、創造性にあふれた研究開発に取り組んでいます。ポリマーを主体として各種ウレタン、プラスチックやエラストマーの配合・発泡・成形技術、その他複合材の技術を駆使し、自動車産業をはじめ産業資材・生活用品・情報通信・電子機器等の幅広い分野で常に新しい素材を提供しています。また同時に、環境負荷の軽減、軽量化、省エネルギー、高機能化の新製品、新プロセスの研究・開発を進めています。



研究・開発体制

イノアック技術研究所、神野R&Dセンター、グローバル技術本部を中心としてポリウレタン、ゴム、樹脂素材などの高分子材料技術をコア技術として、合成・配合技術、発泡・成形技術を磨き、独自の新しい材料開発を進めています。国内外の大学や公的研究機関との共同研究と技術開発も重要と考え、米国・中国・タイ等でもR&D体制を整備して、将来を見据えた新素材開発と応用開発研究を積極的に推進しています。各事業部の技術部門では成形加工技術、材料の複合化技術を用いた製品やウレタンフォームの耐熱性能、耐衝撃性能の高機能化を推進して、顧客ニーズに合った製品の開発を進めています。プロセス開発部門では独自のアイデアで自動化、コンパクト化した製造ラインを積極的に導入しています。



JAPAN
株式会社イノアック技術研究所



CHINA
SHANGHAI INOAC POLYMER PRODUCTS CO., LTD.



USA
INOAC USA, INC.



THAILAND
INOAC (THAILAND) CO., LTD.